

国際・公共政策大学院を修了された皆さんに —修了証書をお渡しするに際して—

国際・公共政策大学院を修了された皆さんに対してご挨拶を申し上げる前に、まず、今回の震災の犠牲者、被害者及びご家族の皆様にお悔やみとお見舞いを心より申し上げます。また、修了生の皆さんに対しても、例年と異なり、修了式等が開催できないため、直接に修了証書をお手渡しできないことについて、お詫びを申し上げます。

皆さんは、公共政策のプロフェッショナルを養成するための専門的・先端的なカリキュラムを見事に修了されました。これから、国内外の行政機関、企業、NPO法人、大学院博士課程等と、皆さんはそれぞれの進路に向かって歩み始められることと存じます。あるいは、派遣された組織へと戻られる方もおられるでしょう。このように皆さんがこれから歩まれる道は様々ではありますが、本大学院で修得された知識・能力、特に政策立案のためのスキル、プレゼンテーションの能力は、どのような職業・仕事に就かれようとも、皆さんにとっての貴重な財産となることを、私ども教員一同は確信しています。

カリキュラムを修了された皆さんが実感されたように、本大学院のカリキュラムは、他の公共政策系大学院よりもハードなものとなっています。各専門領域における最先端の知識を伝える講義の密度は高く、ワークショップ等においては、高度な政策提言の内容について、決められた時間内に分かり易く要領よく説明することが、何度も求められたと思います。このようなカリキュラムと研究環境とを通じて取得、養成された知識・能力は、今後、必ずや皆さんにお役に立つでしょう。

東北関東大震災以来の混迷は連日報道されている通りです。被災地域は無論のこと、我が国はこれから長い復旧・復興の道を進まなければなりません。できることならば、良い社会と希望を後世に残すことが、現在を生きる私たちの責務です。大学の最終目的は人材を育成することです。皆さんは私たちにとりまして誇れる「アウトプット」です。皆さんを含めて優れた人材が結集すれば復興は可能と思います。

修了証書をお渡ししても、皆さんと本大学院との関係は絶たれません。公共政策の現場、企業活動の最前線、先端的な研究との場においては、本学の教員と修了生、同時期に修了した大学院生相互のネットワークは、皆さんにとってもう一つの貴重な財産です。今後、いろいろな政策課題、実務上の課題に遭遇されたときには、本大学院で培った繋がりをご遠慮なく活用して下さい。ちなみに、国際・公共政策大学院の歴史はまだ浅く、本学OG・OBの数も決して多くはありません。皆さん一人ひとりが本大学院の貴重な財産であることに疑いはありません。これから皆さんが社会の最前線で活躍され、本大学院の存在を大いに世界にアピールして頂くことを願っています。ともに頑張りましょう。

2011年3月23日

一橋大学
国際・公共政策大学院長
高橋 滋